

## 普及活動情勢報告（令和7年8月分）

### 中央西農業振興センター農業改良普及課

#### 次作での生産安定に向けて ～バイオスティミュラント（B S）資材勉強会を開催～



7月24日、とさし環境制御技術研究会がバイオスティミュラント資材に関する勉強会を開催し、生産者13名と資材メーカー3社が参加しました。

農業改良普及課は、研究会役員やJAと連携し、多くの生産者が参加できるよう、勉強会の内容の企画や周知について支援しました。

参加者からは、「高温による影響が大きくなっているため、発根促進やB S資材の情報収集を行っていくべき」「定期的に勉強会をやっていこう」との声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、産地振興に向けた取組を実施していきます。

#### 土壤の基礎知識習得を目指して ～農業基礎講座を開講～



7月30日、管内の新規就農者や研修生を対象に中央西農業振興センターで、土作りに関する農業基礎講座を行い、4名が受講しました。

自分でできるpHの簡易測定方法や土性の判定方法など体験を多めにしたため、受講者全員から今後営農していく中で参考となったとの声が聞かれました。

農業改良普及課では様々なテーマで年間4回、新たに農業を取り組む方に役立つ情報を届けています。今後も活動を継続し、基礎知識の習得に向けて支援します。

#### 集落営農組織での初収穫が始まります ～沖田集落営農組合打ち合わせ会～



8月12日、いの町沖田地区において、沖田集落営農組合が管理する水稻の収穫時期の検討と収穫作業の確認について打ち合わせ会が行われました。農業改良普及課は、収穫適期の見方や各圃場のおおよその収穫時期について助言しました。

組合員からは「改めて水稻の収穫時期の見方を知ることができた」「収穫の早い圃場から順に協力しながら作業を進めていこう」など、収穫作業の分担を確認しながら組合での初めての収穫に向けて意欲が高まっている様子でした。

農業改良普及課では今後も沖田集落営農組合の活動が円滑に進むよう支援していきます。

農業機械のメンテナンスはどうしゅう  
～農業基礎講座（農業機械の基礎・メンテナンス）～



8月20日、土佐市において、農業改良普及課の主催により、新規就農者を対象とした農業用機械に関する研修会を開催し、研修生・新規就農者4名が参加しました。

研修会では、JAの農機センター担当者からトラクターのメンテナンスや操作方法について説明をしていただきました。

参加者からは「メンテナンスの方法が良くわかった」「他の機械のメンテナンスや操作方法も学びたい」等の感想があり、好評な研修会となりました。

農業改良普及課では、今後も研修会の開催等を通じて、新規就農者の育成に取り組んでいきます。